



たかのす便り

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、現場見学会や視察等で多くの皆様に鷹ノ巣道路に来て頂き、ありがとうございました。平成29年も鷹ノ巣道路はじめ、国土交通省事業へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成28年の鷹ノ巣道路の主な動き

平成28年はJR東日本との施行協定締結と、それに基づく約6年間に渡る委託工事が契約されました。

- 2月：JR東日本^{注1)}と1号橋梁の施行協定締結
- 3月：JR東日本が鉄建・加賀田組共同企業体と工事契約
- 9月：関川村総合振興審議会の委員約20名が現場視察
- 10月：関川村民と役場職員の現場見学会に30名が参加
- 10月：新発田南高校土木工学科3年生40名の現場見学会

注1) JR東日本：東日本旅客鉄道(株) 上信越工事事務所



現場から望む、晩秋の鷹ノ巣温泉と吊り橋
(鷹ノ巣温泉喜久屋様の提供写真)

大内湊で仮栈橋と薬液注入工事を進めています

大内湊地区では、渡辺組が施工してきたボックスカルバートが完成し、鉄建・加賀田組共同企業体が、1号橋梁の工事の内、仮栈橋と薬液注入の施工をしています。

仮栈橋は沢を渡る橋の目的の他、作業をするためのステージ(作業構台)にも使います。工事は冬期間も行い、この仮栈橋は1月中に完成の予定です。また、P1橋脚部では薬液注入工事を進めています(薬液注入工事の説明は次ページに記載しています)。



ボックスカルバートが完成しました（渡辺組）

新しい道路と以前からある道路が交差する場所で、新しい道路が出来ても道が途切れないように、ボックスカルバートという箱状の構造物を造り、その中を通行できるようにします。

このボックスカルバートの中は「村道九ヶ谷郷線」として使われ、このボックスカルバートの上に土砂を盛り鷹ノ巣道路ができます。

渡辺組が9月から施工してきましたが、12月に完成しました。



【正確に組み立てられた鉄筋】



【ポンプ車でコンクリート打設】



【チームワークのコンクリート作業】

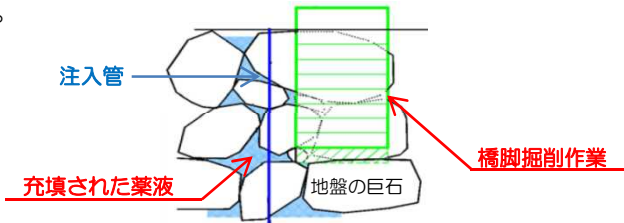


【丁寧なコンクリート表面仕上げ】

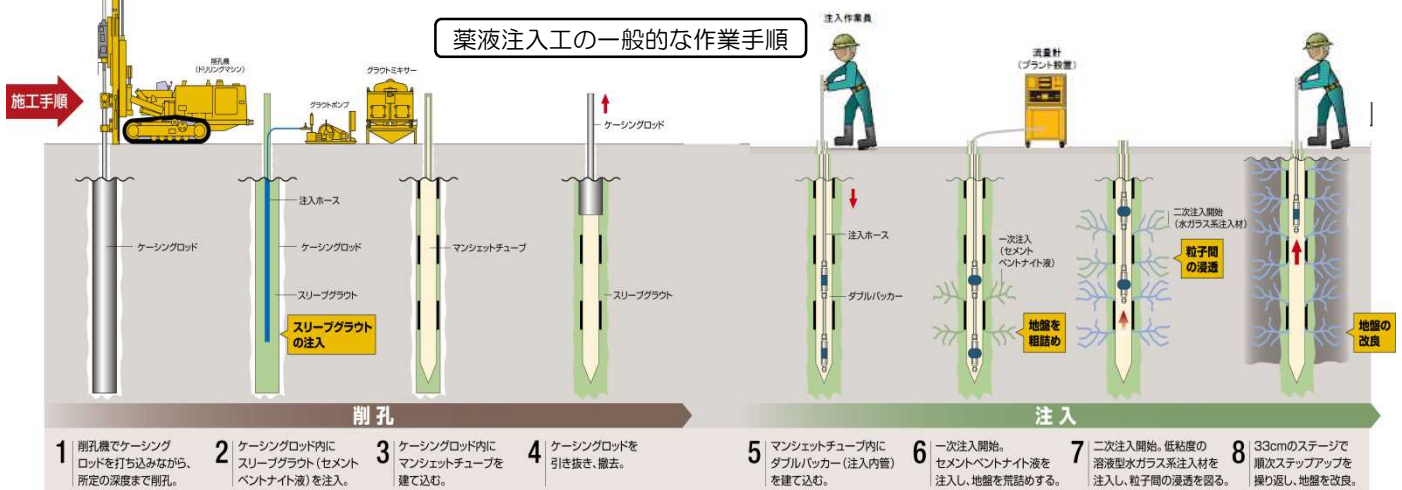
薬液注入工事についてご説明します

工事箇所は最大で直径8mもある巨石が堆積している特殊な地盤です。この地盤に大きな孔（直径約8m、深さ約23m）を掘り橋脚を作りますが、この掘削作業時に巨石が動く大変危険です。

そのため、約10秒で硬くなるゲル状の薬液（石灰系硬化材と水ガラスなどを混合）で巨石の隙間を充填することで、巨石が動かないようにする工事です。



地盤に孔をあけ、その孔に薬液を加圧注入し、空隙を充填します。



発行およびお問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1
電話：0254-62-3211（代表）
担当：伊藤（鷹ノ巣道路整備推進プロジェクトチームリーダー）
URL⇒<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

